HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	後記
Citation	北大百年史, 史料(二), 813-815
Issue Date	1981-07-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/30086
Type	departmental bulletin paper
File Information	siryo2_p813-815.pdf



Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

後記

札幌農学校は、本学の伝統の源泉であるとともに、近代日本成立期の特色ある高等専門教育機関として、また米欧文化輸入の窓口として注目すべき存在である。わが国の科学史・文化史・思想史の上に、また北海道の開拓史の上に消し難い足跡を残している。

本学には、札幌農学校のオリジナルな文書群(簿書＝文書綴り約千冊、外国人教師関係文書約五千点など)が幸いにして保存されている。そのなかから重要な文書を抽出すれば、札幌農学校の教育・組織・研究・学生・思想などの諸側面にわたるかなり密度の高い史料集を編むことができるだろうというのが、私どもの考えであった。

これらの文書群は、これまでほとんど利用されたことがなく、また容易に通読できるものでもない。これを史料集の形で公開することによって、本学の関係者が母校の伝統をたしかめる手がかりとなり、またひろく日本の近代を考える人々のために役立つとすれば、それは本学の創基百周年を記念する有意義な仕事となるにちがいない。

しかし、この編集はなかなか骨の折れる仕事であった。千冊におよぶ簿書群のなかから重要度の高い史料を選択すること、それを解読・筆写し、日付を確定して編集すること、校正にあたって再三原本との照合を行うこと、これらの労力は当初の予想を越えるものがあった。そのうえ、札幌農学校の上級機関である開拓使・農商務省・北海道庁、さらに太政官・内閣などの公文書によって、北大所蔵史料を補うことに踏み切ったために、編集

作業は増加し、ただでさえ予定を超過しがちな採録史料の量も、さらに大きくなった。

その結果、この種の史料集としては、かなり綿密で誤りの少ないものになったと思うが、そのために予想以上の頁数と時間を費やしたこと、『北大百年史』全体の構成のうえでいささかバランスを失ったことについては、関係者の方々にお詫びしなければならない。ただ、この史料集が多くの方々によって活用され、また、これを手がかりとして原史料利用の機会が多くなるとすれば、それは私どもの大きな喜びである。また、未刊の史料を公開することに力点を置いたため、既刊の史料集などに採録されたものは、比較的重要な文書であっても割愛した場合が少なくない。解説に記したような関係史料・文献をあわせて参照していただければ幸せである。

本書の編集を担当したのは、百周年記念事業実行委員会出版専門委員会のもとに置かれた北海道大学百年史編集室である。編集室は、さきに刊行した「部局史」の編集・校正にあたり、いまこの「札幌農学校史料」(一)・(二)の編集を終わり、さらに「通説」の執筆・編集につとめているところで、そのメンバーは左記のとおりである。

編集室長　永井秀夫（文学部・出版専門委員会委員長）
編集員　高嶋正彦（農学部・同副委員長）
〃　秋月俊幸（図書館北方資料室）
〃　朝比奈英三（低温科学研究所・一九七八年三月まで）
〃　遠藤一夫（工学部）
〃　大崎恵治（農学部）
〃　佐伯有清（文学部）
〃　田中　彰（文学部）

編集員　長岡新吉（経済学部）
〃　松沢弘陽（法学部）
〃　（専任）青山英幸
〃　（専任）山田博司
編集助手（専任）石見和子（旧姓竹名、一九七七年四月～七九年三月）
〃　（専任）近藤桂子（一九七九年四月～八一年三月）
顧　問　高倉新一郎（名誉教授）
　　朝比奈英三（名誉教授・一九七九年五月より）

編集の中心となったのは青山英幸・山田博司の両氏であり、各編集員は簿書および外国人書簡を通読し採録文書を選び出す仕事を助けた。史料の解読と筆写に傾注された前田徳泰氏の努力や、原本との照合・校正にあたった石見和子・近藤桂子・鬼柳規子・小賀坂侑子の諸氏の力に負うところも大きい。

末尾ではあるが、史料を提供していただいた諸機関や関係者の方々に御礼申上げるとともに、作業の進行を助けられた事務局庶務課・経理課の方々、また困難な組版・校正を担当した出版社の方々にも謝意を表させていただきたい。

一九八一年七月

北海道大学百周年記念事業実行委員会出版専門委員会委員長

永井秀夫

北大百年史　札幌農学校史料(二)

一九八一年　七月二〇日　印刷
一九八一年　七月三〇日　発行

編集・著作　北海道大学

印刷・発行　株式会社　ぎょうせい

本社営業所　東京都新宿区西五軒町五二
北海道支社　札幌市中央区北二条西二〇―一―三
電話　(〇一一)二四一―一九七一